

平成21年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指導	題名	簡易検定法によるハウレンソウ萎ちょう病の耐病性評価		
[要約] ほうれんそう 23 品種の萎ちょう病耐病性について簡易検定法により比較検討した。その結果、スライダーセブン、アリゾナ、NX-SP112、SP165、YP518 の耐病性は「やや弱」であり、夏どり・初秋どり用品種としては実用性が低い。					
キーワード	ほうれんそう	萎ちょう病	耐病性	園芸研究室（県北） 病理昆虫研究室	

1 背景とねらい

夏どり・初秋どり雨よけほうれんそうでは、減収要因のひとつとして萎ちょう病による生育不良があげられる。本病に対する有効な防除法として耐病性品種の利用があげられるが、現在流通している品種の萎ちょう病耐病性は不明である。

そこで、品種選定にあたっての参考に資するため、県内主要産地で夏どり・初秋どり用として栽培されている、または候補としてあげられている品種について、萎ちょう病耐病性を明らかにする。

【要望公所：中央農業改良普及センター】

2 成果の内容

- (1) スライダーセブン、アリゾナ、NX-SP112、SP165、YP518 の萎ちょう病発病程度は、耐病性「やや弱」とされるおかめと同程度であり、夏どり・初秋どり用品種としては実用性が低い（表1）。

3 成果活用上の留意事項

- (1) 各品種の収量や草姿（立性・開帳性）等の栽培特性については、現在、各産地が品種比較圃場を設置して検討しているので、その結果の共有化を図ることが望ましい。

4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯または対象者等 JA の営農指導員等、農業普及員
(2) 期待する活用効果 夏期ほうれんそうの安定生産

5 当該事項に係る試験研究課題

(H21-08-1000) ほうれんそう産地における夏期増収技術の確立（平成 21～23 年、予算：県単）

6 研究担当者 藤沢 巧・岩館康哉

7 参考資料・文献

- (1) ハウレンソウ萎ちょう病に対する品種耐病性簡易検定法（平成 10 年度試験研究成果）
(2) ハウレンソウ萎ちょう病に関する研究 勝部（2001）岩手農研セ研報 2:1～60

8 試験成績の概要（具体的データ）

表1 簡易検定法による調査結果と評価

播種日・供試菌株 品種名	08.10.22	08.10.30	08.11.11	08.11.18	09.3.24	評価
	菌株A	菌株B	菌株A	菌株C	菌株A	
サマーステージ MSS-958						
サマービクトリー SP-166						
ソロモン						
サマーズ NX-SP114						
YPP-691						
パスワード7						
マジェスタ						
ハイドロセブン						
ジョーカーセブン						
アクティブ						
スーパーアリーナ7						
プレシャス7						
スーパースター						
ミラージュ						
プリウス						
晩抽サンホープ						
サマースカイR7		×				
スライダーセブン						
NX-SP112						
SP-165		×				
アリゾナ						
YP-518		×				
おかめ		×			×	
キングオブデンマーク		×			×	

各試験結果の発病度を平成10年度研究成果にならって5段階に区分し、以下のとおり記号で記した。発病度0.5未満：、0.5以上1.3未満：、1.3以上2.7未満：、2.7以上3.5未満：、3.5以上：×

検定方法：平成10年度研究成果の方法に従った。

調査方法： 10^5 個/mL以上の萎ちょう病菌懸濁液を土壌灌注し、20～25℃に設定したガラス温室で2～3週間後、発症程度別（発症なし：0、軽微な発症：1、中度の発症：2、重度な発症：3、枯死：4）に株数を調査した。

供試菌株：菌株Aは遠野系、菌株Bは久慈系、菌株Cは八幡平系

網掛品種：平成10年度研究成果に従い、ソロモン（やや強）、アクティブ（中）、おかめ（やや弱）、キングオブデンマーク（弱）を耐病性の基準品種とした。